

スペース

やまだ文芸広場

夕風に夏の残りを惜しみつつ
夜風はいつしか秋の訪れ

内館 洋一

ヒマワリは

お日さま追いかけ

首まわす

齊藤 フサ

松茸採り

さわやかな夜明けの風と

まご鳥の鳴き声に

少しのさみしさを思う秋の朝

坂本 フジ

「暑さにもまけず」

トマトズッキーニ

ナスモロコシ

ピーマン盆花も

畑の恵みありがたや

小林 りつ子



一瞬の輝きが一生の思い出に

「九月一日号の広報やまだ」は花火大会で打ち上げられた花火がとてもきれいに表紙を飾っていました。

今年は例年になく猛暑の八月。この八月は、大切な三人の方々との悲しい別れがあり、私には花火が鎮魂の花火のように胸にしみ入りました。

これからも町民の心をつなぐ「広報やまだ」を楽しみにしています。

中垣 のり子



前髪ハート

今月は
虹の写真が
届きました

みんなの

「ふるさととは心の糧」

子ども頃のお盆は旧暦の七月でした。一日の夕方になると、どこか家庭でも家の前に提灯をさげ、迎え火「松あかし」をしていた。母から「佛さんたちが灯りをたよって家に宿りにくるんだよ」と教えられて信じて育った。

私が住んでいた地区には、お店があまりなかったのも、近所の親御さん達と、十三日の早朝、大槌の盆市に行った思い出がある。午後からは「せがきだな」を座敷に置き、お供えものをあげて手伝った子ども頃を思いだしている。なつかしいなあ。夕方の松あかしは一日、七、十三、十四、十五、十六、二十、三十日盆まで。家には縁側があったので誰でも気がねなく腰かけて、今でいうコミュニティセッションの場でもあった。そのためかな、初対面でも十年前から知り合いのような気さくに話している。土地がらかな。

この間、大槌で介護施設の理事長をされている方に会ったら、「サカエさん吉里々々はいいべえす」「はいふるさととは一番」とふたりで笑いました。

菊地 サカエ



きれいな花が
咲きました

わたすの家で育った睡蓮や寄せ植えがきれいに咲いたので紹介します。

みってい

皆さんの投稿をお待ちしています！

「みんなのスペース」では、皆さんからの投稿や文芸作品、イラスト、写真などを募集しています。

左記の投稿規定を確認のうえ、郵送、直接持参または電子メールで、発行日(毎月1日)のおおむね1カ月前までにお申し込みください。

◆投稿規定 ▷住所、氏名(ペンネーム可)、年齢、電話番号を明記すること▷政治・宗教・営利を目的としたものや、特定の個人・団体をひぼう中傷するものは掲載できません▷行政広報として、掲載することが適当でないと判断されるものは掲載しません

◆あて先・問い合わせ 〒028-1392(住所不要)山田町役場総務課文書・広報係 ☎82-3111内線416/メールinfo@town.yamada.iwate.jp)へどうぞ。